

# 平成30年度 授業改善推進プラン

府中市立矢崎小学校

## 5年生

### 学年の児童の実態と課題（学習への取り組み、家庭学習、学習準備状況、など）

学年全体として、学習に対して意欲的に取り組むことができる児童が多い。また、教科を問わず積極的に発言をしたり、課題に対する自分の考えをノートにまとめたりと、学習に主体的に取り組むこともできている。その反面、書いた考えなどを全体の前で表現することには、苦手意識を感じている児童やノートを書く習慣が身に付いていない児童もいる。家庭学習に関しても、習慣としてしっかりと身に付いていない児童が1～2割程度おり、同じく学習の準備も整わない。声かけをはじめとする、継続的な指導が必要である。

### 各教科

|    | 身に付けさせたい力(伸ばしたい力)  | 児童の課題を解決していくための工夫   | 成果と課題(年度末) |
|----|--|---|------------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の意図をとらえながら聞く力</li> <li>○文章全体の構成を考え、表現を工夫して書く力</li> <li>○要旨を捉えて読む力</li> <li>○漢字を正しく読み書きし、日常的に使う習慣。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○スピーチや話し合い活動などで話の目的を意識して内容を聞き取らせるとともに、相手の考えと自分の考えを比較し、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理する場を多く設ける。</li> <li>○各段落の内容を、事前に大まかに考えてから書かせるようにする。また、冒頭部や終結部など、読み手に伝えるための工夫にも目を向けさせる。</li> <li>○繰り返し使われている言葉や、筆者の考えが書かれている段落を意識させ、分量に合わせてまとめる経験を多くさせる。</li> <li>○家庭学習での練習と共に定期的に小テストを行うなどし、新出漢字の定着を図る。全教科の学習で既習漢字を使うことを奨励する。</li> </ul> |            |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な資料を探す力</li> <li>○資料から情報を読み取る力</li> <li>○自らの考えの根拠となる資料を提示する力</li> <li>○社会的事象に対して主体的に考える力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料のタイトルや項目を見て、資料の取捨選択ができるようにしていく。</li> <li>○1時間の授業の中で、地図帳や資料集などを活用する場面を設定していく。</li> <li>○新聞やポスターなどに自らの考えの根拠となる資料を提示する習慣をつけていく。</li> <li>○単元冒頭に学習問題を明確に立て、その問いを追究する形態を定着させていく。</li> </ul>  |            |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小数のかけ算とわり算を正しく立式し、正しく計算する力</li> <li>○平面図形、立体図形の性質を理解し、面積や体積を正しく求める力</li> <li>○整数・小数・分数の関係を理解し、四則計算の仕方を考え、用いる力</li> <li>○既習事項を生かして、筋道を立てて考え、論理的に説明する力</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○4マス関係表などを活用して立式できるようにし、計算の仕方を適宜確認しながら答えを求めるようにする。</li> <li>○視聴覚教材等を活用して、図形のイメージを捉えやすくすることで、面積や体積の求め方を考えられるようにする。</li> <li>○線分図や面積図など活用し、整数・小数・分数の関係を捉えさせ、計算の仕方が考えられるようにする。</li> <li>○自分の考え方を、図や式だけでなく、理由も分かりやすく言葉で書かせ、それを友達に説明する場面を設定する。</li> </ul>   |            |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題を解決するために必要な観察や実験の方法を考える力</li> <li>○実生活や既習事項から、観察や実験の予想やその理由を考える力</li> <li>○自然の事物や事象、実験結果を正しくとらえ、表す力</li> <li>○実験結果から考察する力</li> <li>○観察や実験から得た知識を自らの実生活に生かす力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を全体で確認し、既習事項を生かしながら問題を解決するためにはどうしたらよいか予想したり、その理由を考えたりする時間を確保する。○問題、予想、実験方法、結果、まとめなど一通りの流れを全体で確認し、ノートの表し方を指導する。</li> <li>○実験結果から分かったことを考えるときは、常に問題に立ち返らせるようにする。</li> <li>○理科の用語の使い方や理科的な事象を生かしている身近なものを紹介したり考えさせたりし、実生活と結び付けさせる。</li> </ul>  |            |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの課題に即した運動の方法を考える力</li> <li>○各運動領域の特性に応じた技能を身に付ける力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードに自らの動きの課題を書き込むようにしていくことで課題把握につなげていく。陸上運動や器械運動を中心に、課題に沿った複数の場から選択して取り組めるようにしていく。</li> <li>○ボール運動では、チームと個の学習カードを書き、めあてをもって運動できるようにしていく。</li> <li>○タブレットの動画機能を活用し、自らの運動の様子を動画で確認することで動きの修正をできるようにしていく。</li> <li>○ペアやトリオなどの教え合いを積極的に活用していくことで、動きを高め合っていく。</li> </ul>   |            |

|           | 身に付けさせたい力(伸ばしたい力)   | 児童の課題を解決していくための工夫   | 成果と課題(年度末) |
|-----------|---|---|------------|
| 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決のために必要な資料を見付け、活用できる力</li> <li>○相手意識・目的意識をもって調べたことを適切に発表する力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童に課題意識をもたせ、何を調べるのか、なぜ調べたいのかを明確にしてタブレットやパソコン、本などを使って調べさせるようにする。</li> <li>○どのようにしたら相手に伝わりやすいかを考えさせ、プレゼンテーションや模造紙、新聞などにまとめて、相手を意識した発表をさせる。</li> </ul>   |            |
| 外国語       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語と日本語のリズムや発音の違いに気付く力</li> <li>○簡単な語句を書き表す力</li> <li>○外国語の文化を理解しようとする力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTと協働し、チャンツを積極的に取り入れていく。拍手の拍のポイントに着目させることで伝えたい言葉を強調していることがつかめるようにする。○毎時間、短い言葉を書く活動を取り入れ、大文字と小文字の区別がつくようにしていく。</li> <li>○動画コンテンツを活用し、日常的に他の文化の違いに親しめるようにしていく。</li> </ul>  |            |
| 音楽        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う力。</li> <li>○曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する力。</li> <li>○楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏の良さを見いだす力。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○主旋律とや副次的な旋律を正確に歌えるよう音取りを繰り返した上で、テンポをゆっくりにして全体のハーモニーを聴きながら歌ったり、グループに分かれて聴き合ったりし、声の重なりや全体の響きを意識できるようにする。</li> <li>○楽器の音色の響きに気を付けて演奏することを常に意識させながら、自分の思いや表現の工夫についての考えをもち、言葉や音楽で伝え合う場面を設定する。</li> <li>○楽曲を聴く際には、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みについてキーワードとして示しておく。想像したことや感じ取ったことをワークシートにまとめ、発表する場を設けて楽曲の特徴や演奏の良さを共有する。</li> </ul>                                |            |
| 図工        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○表現したくなる題材を見つけたり気づいたりする力を、表現に結び付けていく。</li> <li>○自分、仲間の作品に共感し、尊重するとともに、画家や作家の芸術作品を味わう力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分にとって価値ある体験や表現するモチーフなどを選べる題材の設定や環境作りを行い、作品に結実するように、材料、時間、場所をていねいに設定する。</li> <li>○自分や仲間の作品の作者の意図や思いが反映されているところに、互いに気づいていくために、作品を実際に飾ることや、ICT機器を用いた写真等での鑑賞を行う。</li> </ul>  |            |
| 家庭科       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や地域に支えられ成長してきたことを知り、家庭生活と家族のかかわりを見つめ、自分ができることを考えて、より良い生活にしていこうと工夫していく力</li> <li>○家族の一員としての自覚を持ち家族のために家事を分担していこうとする力</li> <li>○家庭生活を維持していくのに必要な家事の内容を知り、整理整頓や調理の基礎、裁縫の基礎を学び、学んだことを実生活に活かしていく力</li> <li>○教科書や資料を読み、自分に必要な情報を取り出し、活用していく力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のこれまでの生活を振り返り、友達と交流することで、自分の家庭生活のよさや課題を客観的に見つめ、自分も家族の一員として家庭に関わろうと意識をもてるようにする。</li> <li>○家庭には衣食住や家族に関する仕事があることを理解させ、家族の仕事を観察したり友達と話し合ったりすることを通して、家事に協力しようとする意欲を高めさせる。</li> <li>○家庭生活に必要な衣食住に係る調理や裁縫などの基礎的・基本的な知識及び技能を、作業したり、友達と協力したりしながら活動させることで、確実に身に付けさせる。</li> <li>○家庭生活を送る上で必要な家事に必要な用語を覚えたり、実習に取り組んだりする中で、必要な知識を身に付けさせるようにする。</li> </ul> |            |

学年の児童の成果と課題(年度末)

|  |
|--|
|  |
|--|